



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社ビーアールホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 1726 URL <http://www.brhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 公康
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 天津 武史 TEL 082-261-2860
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,108	7.9	767	313.8	771	381.5	478	—
29年3月期第2四半期	10,292	26.3	185	—	160	—	35	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 495百万円（-％） 29年3月期第2四半期 5百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	12.30	12.14
29年3月期第2四半期	1.06	1.05

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	21,560	5,216	23.3	128.92
29年3月期	20,657	4,714	22.2	118.03

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,015百万円 29年3月期 4,584百万円

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	2.00	—
30年3月期	—	2.50	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成29年第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	12.9	1,500	9.3	1,450	9.1	900	0.1	23.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

決算に関する補足情報として、当社ウェブサイト (<http://www.brhd.co.jp/ir/libs/summary.html>) に本日公表の決算概要資料を掲載しております。併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	39,700,000株	29年3月期	39,700,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	793,176株	29年3月期	857,176株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	38,877,273株	29年3月期2Q	33,568,785株

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用情勢が改善傾向にあるなど、緩やかな回復基調が続きました。一方で、欧州・米国の金融政策の動向や、北朝鮮情勢の動向に伴う地政学的リスクの高まりなど、依然として先行きについては不透明な状態が続いております。

当社グループの主力事業である建設事業におきましては、公共投資・民間投資ともに底堅い動きが続いており、引き続き受注環境は堅調に推移しております。

このような情勢の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は111億8百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は7億67百万円（前年同期比313.8%増）、経常利益は7億71百万円（前年同期比381.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億78百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益35百万円）と上場以来最高益となりました。

なお、当社グループは、通常の営業の形態として第4四半期に完成する工事の割合が大きく、業績に季節的変動があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、金額にはセグメント間取引を含めております。

(建設事業)

建設事業におきましては、9月に開札された大型物件の落札決定が10月に持ち越しとなったことによる影響が大きく、当第2四半期連結累計期間の受注高は66億70百万円（前年同期比28.6%減）となりました。しかしながら、10月に入り契約が順調に推移し、4月から10月までの7か月間では過去最高の受注高を達成する見込みであります。一方、前期からの手持工事が順調に進捗したことにより売上高は98億22百万円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は11億72百万円（前年同期比107.4%増）となりました。

(製品販売事業)

製品販売事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の受注高は前年並の14億43百万円（前年同期比3.0%増）となりましたが、建築部材の出荷数量が増加したことにより、売上高は11億65百万円（前年同期比49.3%増）、セグメント利益は91百万円（前年同期比89.7%増）となりました。

(情報システム事業)

情報システム事業におきましては、国内のIT関連需要は増えてきており、既存顧客企業のIT投資が徐々に増えておりますが、企業収益や設備投資の格差、都市部と地方の格差などまだら模様で不透明な状況が続いております。当第2四半期連結累計期間の売上高は1億45百万円（前年同期比5.7%減）、セグメント損失は11百万円（前年同期 セグメント損失16百万円）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、当社保有の極東ビルディングにおいて、事務所賃貸ならびに一般店舗・住宅の賃貸管理のほか、グループ会社の拠点として、当社が一括して賃借した事務所を各グループ会社に賃貸しており、安定した売上高を計上しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は92百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は57百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は215億60百万円となり、前連結会計年度末比9億3百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等が11億13百万円減少したものの、未成工事支出金が8億27百万円、商品及び製品が8億3百万円、未収入金が3億20百万円、現金預金が1億32百万円増加したことによるものであります。有利子負債は2億62百万円減少し、42億26百万円となりました。純資産は、株主配当金77百万円の支払を実施したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益4億78百万円の計上等により、前連結会計年度末比5億1百万円増加の52億16百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動による資金の獲得、投資活動及び財務活動による資金の使用により、前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、17億97百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は7億52百万円（前年同期は4億48百万円の獲得）となりました。主な要因は、未成工事支出金の増加額8億27百万円、たな卸資産の増加額7億16百万円、未収入金の増加額3億32百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益7億71百万円の計上に加え、売上債権の減少額11億13百万円、未成工事受入金金の増加額7億49百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は3億77百万円（前年同期は1億77百万円の使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出2億61百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は3億42百万円（前年同期は2億12百万円の獲得）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出3億52百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,890,000	2,022,983
受取手形・完成工事未収入金等	8,144,368	7,030,432
未成工事支出金	1,939,942	2,767,789
商品及び製品	755,226	1,558,786
仕掛品	186,571	110,050
材料貯蔵品	92,710	82,247
未収入金	3,023,394	3,344,309
繰延税金資産	258,934	185,783
その他	17,159	24,795
貸倒引当金	△2,151	△1,547
流動資産合計	16,306,157	17,125,632
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	1,098,355	1,205,268
土地	2,097,557	2,097,557
その他（純額）	416,562	430,917
有形固定資産合計	3,612,474	3,733,743
無形固定資産	108,301	107,522
投資その他の資産		
投資有価証券	435,188	463,384
繰延税金資産	3,757	6,642
その他	210,042	163,728
貸倒引当金	△18,858	△39,968
投資その他の資産合計	630,130	593,787
固定資産合計	4,350,906	4,435,053
資産合計	20,657,063	21,560,685

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,647,171	6,520,054
電子記録債務	1,779,303	1,775,513
短期借入金	2,910,000	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	674,825	439,740
未払法人税等	297,751	200,882
未成工事受入金	1,492,934	2,242,924
賞与引当金	—	133,068
工事損失引当金	288,581	260,408
完成工事補償引当金	148,701	32,154
その他	613,146	758,345
流動負債合計	14,852,413	15,363,090
固定負債		
長期借入金	903,980	786,500
その他	185,888	194,989
固定負債合計	1,089,868	981,489
負債合計	15,942,282	16,344,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,317,541	1,317,541
資本剰余金	785,582	792,973
利益剰余金	2,435,151	2,835,848
自己株式	△54,705	△50,621
株主資本合計	4,483,568	4,895,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,942	119,943
その他の包括利益累計額合計	100,942	119,943
新株予約権	87,583	159,499
非支配株主持分	42,687	40,921
純資産合計	4,714,781	5,216,106
負債純資産合計	20,657,063	21,560,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	10,292,777	11,108,190
売上原価	9,071,256	9,220,995
売上総利益	1,221,521	1,887,195
販売費及び一般管理費	1,036,043	1,119,677
営業利益	185,478	767,517
営業外収益		
受取利息	27	218
受取配当金	3,835	3,770
スクラップ売却益	6,497	8,797
その他	7,719	15,262
営業外収益合計	18,081	28,049
営業外費用		
支払利息	16,852	9,978
工事保証料	9,943	12,004
株式交付費	11,345	—
その他	5,158	1,978
営業外費用合計	43,300	23,962
経常利益	160,258	771,604
特別損失		
投資有価証券評価損	561	39
特別損失合計	561	39
税金等調整前四半期純利益	159,697	771,564
法人税、住民税及び事業税	127,570	225,088
法人税等調整額	△661	69,858
法人税等合計	126,908	294,947
四半期純利益	32,788	476,616
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,672	△1,766
親会社株主に帰属する四半期純利益	35,460	478,383

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	32,788	476,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,854	19,001
その他の包括利益合計	△26,854	19,001
四半期包括利益	5,934	495,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,606	497,384
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,672	△1,766

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	159,697	771,564
減価償却費	108,784	113,388
株式交付費	11,345	—
株式報酬費用	46,291	83,328
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△162	20,506
賞与引当金の増減額 (△は減少)	127,859	133,068
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	97,923	△28,172
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	69,922	△116,547
受取利息及び受取配当金	△3,863	△3,989
支払利息	16,852	9,978
投資有価証券評価損益 (△は益)	561	39
売上債権の増減額 (△は増加)	711,610	1,113,935
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△790,197	△827,847
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△430,063	△716,575
未収入金の増減額 (△は増加)	△746,321	△332,589
仕入債務の増減額 (△は減少)	755,259	△130,906
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	298,904	749,989
その他	62,865	241,705
小計	497,269	1,080,879
利息及び配当金の受取額	3,863	3,989
利息の支払額	△12,276	△9,347
法人税等の支払額	△40,382	△322,770
営業活動によるキャッシュ・フロー	448,474	752,749
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△136,619	△261,135
無形固定資産の取得による支出	△10,960	△9,587
投資有価証券の取得による支出	△931	△935
貸付けによる支出	—	△7,051
貸付金の回収による収入	646	1,466
投資活動によるキャッシュ・フロー	△177,864	△377,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,050,000	90,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△373,944	△352,565
ストックオプションの行使による収入	—	64
自己株式の処分による収入	154,518	—
自己株式の取得による支出	△17	—
配当金の支払額	△32,842	△77,685
株式の発行による収入	1,022,736	—
リース債務の返済による支出	△7,979	△2,336
財務活動によるキャッシュ・フロー	212,470	△342,522
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	483,080	32,983
現金及び現金同等物の期首残高	1,256,136	1,765,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,739,216	1,797,983

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	建設事業	製品販売事業	情報システム事業	不動産賃貸事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	9,374,657	780,634	112,447	25,038	10,292,777	—	10,292,777
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	41,348	66,722	108,070	△108,070	—
計	9,374,657	780,634	153,796	91,760	10,400,847	△108,070	10,292,777
セグメント利益又は損失(△)	565,427	48,491	△16,281	57,059	654,697	△469,218	185,478

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△469,218千円には、セグメント間取引消去△2,065千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△467,153千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	建設事業	製品販売事業	情報システム事業	不動産賃貸事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	9,822,652	1,165,060	96,534	23,942	11,108,190	—	11,108,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	279	48,468	68,719	117,466	△117,466	—
計	9,822,652	1,165,339	145,003	92,662	11,225,657	△117,466	11,108,190
セグメント利益又は損失(△)	1,172,663	91,980	△11,687	57,967	1,310,923	△543,405	767,517

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△543,405千円には、セグメント間取引消去△3,240千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△540,165千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	製品生産重量 (t)	前年同期比 (%)
建設事業	20,118	76.5
製品販売事業	39,833	158.1
合計	59,951	116.4

(注) 当社グループの生産実績は、工場製品の製造における製品生産重量をもって実績としております。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)
建設事業	6,670,993	71.4
製品販売事業	1,443,040	103.0
情報システム事業	222,481	104.5
不動産賃貸事業	92,662	101.0
合計	8,429,177	76.3

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
建設事業	9,822,652	104.8
製品販売事業	1,165,060	149.2
情報システム事業	96,534	85.8
不動産賃貸事業	23,942	95.6
合計	11,108,190	107.9

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 主な相手先の販売実績と総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
高速道路会社	1,799,768	17.5	2,988,424	26.9
国土交通省	3,612,858	35.1	2,137,493	19.2

3. 上記金額には消費税等は含まれておりません。